

建設の機械化

1995.5

No.543



◆巻頭言 JIS, ISO に対する欧州規格 EN の脅威	森 木 泰 光	1
常務理事 故酒井智好兄を偲んで	寺 島 旭	3
社団法人日本建設機械化協会の事業活動		6
感性工学にもとづいた建設機械デザイン改革へのアプローチ	中 田 国 昭・岩 田 照 久	24

グラビヤ——建設機械のニューデザイン

トンネル工事における省力化鉄筋組立システムの開発と施工	石 賀 裕	31
周辺地盤への影響が少ない地盤改良工法の開発と施工	植 木 博・柿 沼 章 夫・ 山 口 勝・鈴木 孝 一	36
大口径立孔掘削工法——スーパー RD 工法の開発と施工——	伊 藤 稔 明・植 田 政 明・ 嶋 井 森 幸・川 田 正 敏	42
超大型（口径 4 m）全回転ボーリングマシンの開発	八 木 肇・江 川 菊 次	49
◆ずいそう 「ところ変われば」——ある卒業式——	庄 子 幹 雄	58
◆ずいそう 私はセールスマン	吉 田 浩 三	60
メカテクノロジー——アンケート調査結果報告——	渡 辺 和 弘	62
◆わが工場 酒井重工業 東京工場	伊 藤 忠 雄	67



◆トピックス	低騒音型建設機械の指定（平成6年度第2回分） 建設機械等損料・賃料の改正（平成7年度向け） 阪神・淡路大震災における災害対策用機械の応援	71
◆海外情報		81
◆新工法紹介	03-105 揚重部材ハンドリングロボット「スウィングキャッチャー」/03-106 汎用型タワークレーン自動運転システム（ACSUS-II）/04-114 沈埋トンネル海底移動工法「SCAT工法」/10-24 ダム自動型枠	調査部会 82
◆新機種紹介		調査部会 86
◆統計	建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会 90
行事一覧		91
編集後記		(渡辺・石崎) 94

◇表紙写真説明◇

ホイールクレーン
「リーチタワークレーン LT 300-1
「ピタゴラス」

コマツ

作業性能で定評ある、ラフテレンクレーン「LW 80」をベースに、新しいコンセプトのブーム構造である、ピタゴラスブーム（主ブーム+水平伸縮ブーム）を装着して、深いふところを確保した新型ホイールクレーンである。

従来型のクレーンでは困難であった、電線越え作業や山越え作業（5階建てビル程度）を電線・電話線の仮移設なしで行え、さらに従来のジブ（延長補助ブーム）では不能であった、水平送込み作業も楽々行える。

8トンクラスのラフテレンクレーンをはるかに超える、最大約30mの高揚程と深いふところを生かして、ビル・マンションなどの建物にピッタリとくっつけての作業が可能のため、道路占有スペースが小さくすみ、道路交通に障害を与えないことで、市街地や住宅

密集地での新築・改築工事や特殊作業に最適のクレーン機械である。

＜本機の主な仕様＞

最大定格総荷重	4.9t×2.5m
最大作業半径（主フック）	12m
（補フック）	21m（起伏角60°）
ブーム長さ（メインブーム）	5.3~15.2m
（水平ブーム）	3.8~14.8m
最大地上揚程（主フック）	19.3m
（複フック）	29.6m（起伏角82°）
巻上ロープ（主巻）	高速111m/min
（補巻）	低速56m/min（5層目） 高速104m/min 低速52m/min（4層目）
ブーム伸縮速度（メインブーム）	46sec（9.9m）
（水平ブーム）	30sec（11.0m）
ブーム上げ速度（メインブーム）	27sec（-6°~82°）
（水平ブーム）	13sec（0~69°）
旋回速度	2.5rpm
エンジン定格出力	150PS/3,000rpm